

## 事業概略書

事業名	障害福祉サービスの種別ごとのピアサポートを担う人材の活用のための調査研究
事業目的	本事業においては、福祉サービス事業所等で活用されているピアサポートの実態把握を行うことにある。全国の都道府県、政令市、中核市等からピアサポートを活用している事業所の情報を得て、量的調査とヒアリング調査を実施し、ピアサポートの活用の現状とその効果を明らかにすることを目的とした。次いで、ピアサポートの活用を推進していくことを目的に、昨年作成した「事業者向けのガイドライン」のブラッシュアップを行うことである。
事業概要	<p>(1) 量的調査：把握したピアサポートを活用している事業所、177カ所を対象としてアンケート調査を実施し、37カ所から回答を得た（有効回答：20.9%）。自立生活センターに関しては、全国自立生活センター協議会に依頼し、加盟しているセンター122カ所に郵送にて同様の事業所調査を実施し、24カ所から回答を得た（回収率：19.7%）。回答してくれた事業所に勤務するピアサポーター125名からも協力を得た。</p> <p>(2) 質的調査：全国でピアサポーターを雇用している福祉サービス事業所及び自立生活センターの中で、ピアサポーターを雇用している事業9カ所、自立生活センターとして活動している事業所3カ所を対象としてヒアリング調査を実施した。</p> <p>(3) ピアサポートの活用を促進するための事業者向けガイドラインのブラッシュアップ：昨年の推進事業で作成した「ピアサポートの活用を促進するための事業者向けガイドライン」について専門職やピアサポーターから広く意見を募集し、内容の修正を行った。</p>
事業実施結果及び効果	ピアサポートを活用している事業所を対象としたアンケート調査とヒアリング調査を実施し、現状を明らかにすることができた。ピアサポートの活用を促進していくためには、研修などを通じた質の向上も重要だが、並行して、専門職とピアサポーターが協働していける環境調整が重要である。現場がピアサポーターの活用の効果として何を評価しているか、その活用に関する具体的な配慮や方法等を聞き取ることができた。また、昨年の推進事業で作成した「ピアサポートの活用を促進するための事業者向けガイドライン」に関して、専門職やピアサポーターから修正意見を募集し、それを反映させて完成させることもできた。今後、多くの行政や事業者にも活用してもらうことにより、ピアサポートの促進に寄与できると考えている。
事業主体	郵便番号：〒170-0004 所在地：東京都豊島区北大塚 3-34-7 法人名：社会福祉法人 豊心会 電話番号/E-MAIL：03-3915-9051 /ji-housinkai@housinkai.or.jp

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。